

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月9日  
派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	四国中央市			代表者名	篠原 実
担当者部署	財務部			連絡先電話番号	0896-28-6204
担当者役職	課長	担当者氏名	則友 康弘	連絡先E-mail	
住所	799-0497 愛媛県四国中央市4丁目6番55号				

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	前回は引き続きデジタル化に対応した情報化計画の策定とアクションプランについて、具体的にご教示いただいたこと。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続した支援をお願いしたい。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年2月26日	13時45分	17時40分	10	225
	派遣形態	講演 (オンライン)			

#### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	5 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	行政手続きにおけるDX推進プロジェクトチームを立ち上げたが、今後、自治体DXを全庁的にどのように推進していけば良いか。そのために必要な業務分析をどのようにしていくのか。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	自治体DX推進にあたり、業務分析などの精査をすることで全庁的にDXを推進する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル情報推進計画の策定をどのようにすればよいかについては、内容としてデジタル手続法や概要、愛媛県の情報化計画などがある場合は参考にするなど、デジタル戦略やスマートシティなども盛り込み、短期的・長期的な各課の達成目標などKPI (重要目標達成指標) を明確にすることが効果的なこと。また、DMM (業務全体の機能構成図) やDFD (機能情報関連図) を用いることで業務分類の整理や情報の整理に大変有効な手段であることをご教示いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DMM (業務全体の機能構成図) やDFD (機能情報関連図) を用いることで業務分類や情報の整理に大変有効な手段であること、実証事例を参考に教示いただいたことで、業務分析の取り組み方についてイメージしやすくなりました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	標準準拠システムの導入に備え既存システムの改修について、システム内容の精査等。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 個別事業支援の対象が担当部署のみであったため、特にアンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

